保存版

北名古屋市久地野自治会
権現・幟立地区

水害手作りハザードマップ

KN_kgn_01_1

2013年　9月
久地野自治会

注意点

◎ 側溝にフタのない箇所が多い。
◎ 側溝に鉄板を敷設してあるところが多い。
◎ 冠水時に避難が必要な場合は、棒などで進路を確認しながら、道路の真ん中を歩くようにする。
◎ 河川増水時、堤防道路は水防活動に使用するため、自動車の停車は控えること。
◎ 東海豪雨の時は、この地域では最大深水深1.5m程度の冠水があった。
◎ この地域は避難所まで遠いので、避難行動をする場合は一時避難所を含めて各自が日頃から考えておくこと。

今後の課題

【私たちの課題・心構え】
・今後下水工事が予定されており、合わせて要望を多く出していく。
・自宅の2階に一時的に避難するような状況になった場合、近所の平屋建ての家にも積極的に声を掛けて、逃げ遅れを防ぐようにする。
・垣根やブロックなどが道路上にはみ出さないようにするなど避難の障害となるものを減らす心がけをする。
・道路が冠水してからの車での避難は、周囲に波を起こして別の危険を招く恐れがあるため、控えるようにする。
・一時避難所に指定してもらえる場所の継続協議。

【行政との話し合い必要】
・通学路と避難路の危険箇所の改善。（深い水路と道路との間に柵がない）
・側溝のフタを設置。
・避難所まで遠い（師勝南小）。
・下水工事に合わせて側溝を整備。
・ガードレールが設置できないところは、ボラードなどで境界の掲示を。
・堤防のひび割れの補修。
・防災スピーカを聞こえやすいものに改善。
・防災ラジオ受信状態の改善。
・自動車の避難場所の確保。